

アスパラガス茎枯病 防除マニュアル



2017年3月

長崎県農林技術開発センター

茎枯病 (*Phomopsis asparagi*)



アスパラガスの主要病害の一つである茎枯病は、ビニル被覆による雨よけを行う半促成長期どり栽培の導入により発生が減少しました。しかし、2004年頃から増加し始め、一部の圃場では大きな被害を与えています。

立茎した親茎が感染した場合、夏秋どりの収量への影響が大きい病害です。対策として地表部残渣の焼却、薬剤散布がありますが、前年の発病程度が高い場合、十分な効果が得られないことがあります。

●病徴

- ・発病は出芽直後に始まる。
- ・茎表面に水浸状小斑点をつくり、しだいに紡錘形に拡大する。
- ・近接する病斑が融合して、茎全周におよぶと茎は折損する。

●伝染源は？

- ・圃場内に残った被害残さに形成された柄子殻（第1次伝染源）が土壌中で越冬する。

●発生しやすい場所は？

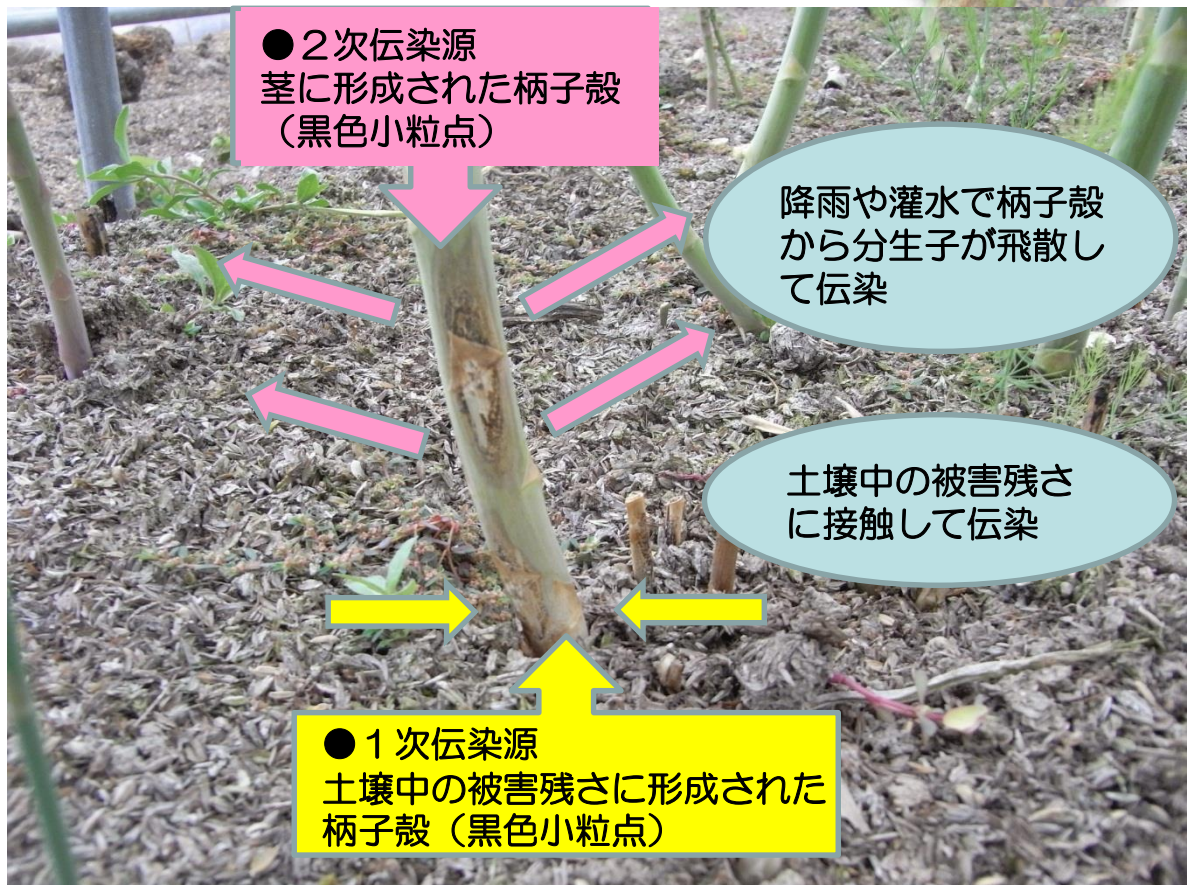
- ・降雨が降りこみやすいハウスサイド部の、比較的新しい茎に発生しやすい。

●どうやって増えるの（2次伝染）？

- ・病斑部に黒色小粒点を形成し、その中に形成される分生子が降雨等によって飛散し、2次伝染する。



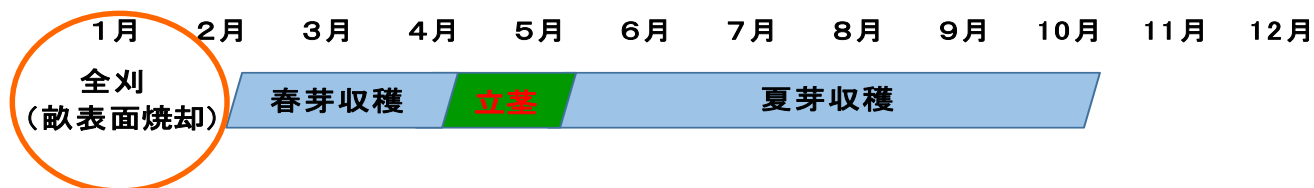
●伝染経路



●防除対策

1. 春芽収穫前

春芽萌芽前の残茎除去および地表部残渣のバーナー焼却による耕種的防除



- ・ 残茎除去は、前作の全刈り後からバーナー焼却前までの間に、地下部から抜取るか、地表面から約3～5cm下（りん芽より上）を切り取る。
- ・ バーナー焼却は、畝表面の残さをバーナーで焼却する。

地際部の発病茎は、完全に焼却できないので、残茎の除去を徹底しましょう！

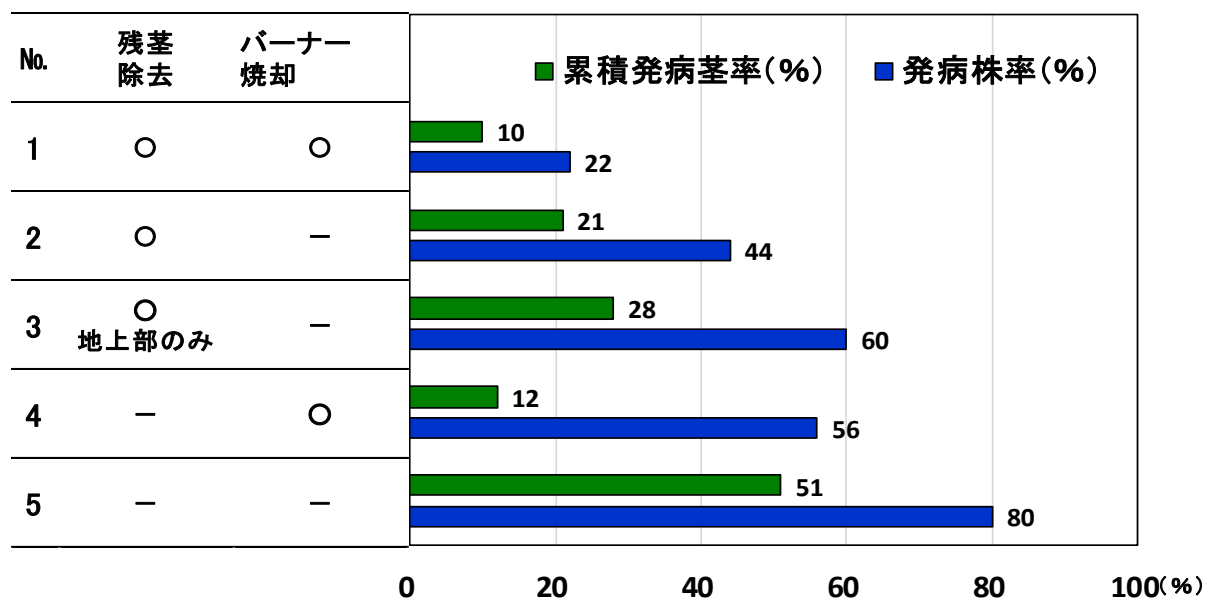


図 茎枯病に対する耕種的防除の効果（ポット試験）

2. 立茎期間

親茎の最重要防除期間、立茎開始から薬剤散布



- 立茎期間の薬剤防除は、浸透移行性のあるベンレート水和剤を1回目に散布し、その後10日間隔でベンレート水和剤以外の系統の異なる登録薬剤をローテーション散布する。(合計4回、3.夏芽収穫期間の薬剤防除体系を参照)
- 薬液は茎葉だけでなく、病原菌の主な生息場所である親茎の株元にもかかるように散布する。
- 発病茎は見つけ次第、直ちに取り除く(ハウス外で処分)。

茎枯病に対して収穫前日に使用可能な薬剤の防除効果

◎ ベンレート水和剤
◎ ダコニール1000
◎ アミスター20フロアブル

○ ロブラール水和剤
○ コサイド3000

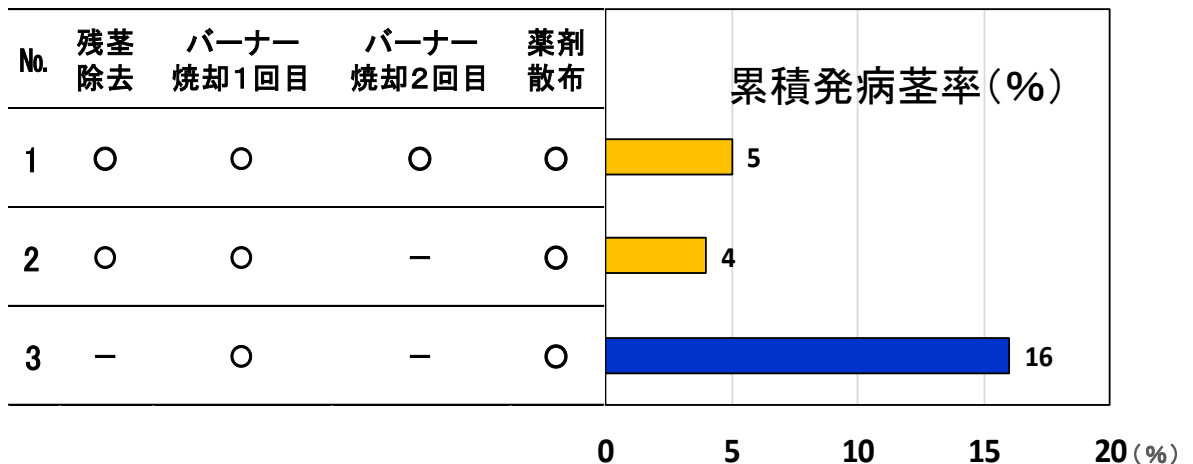
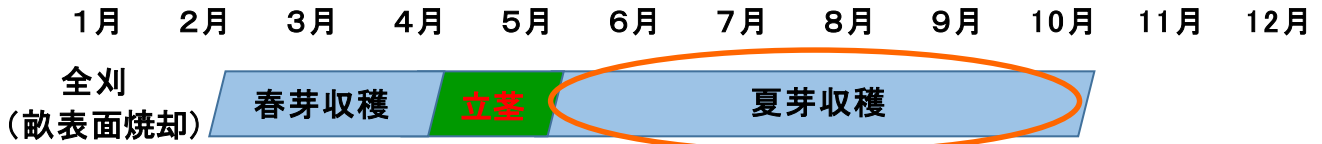


図 茎枯病に対する耕種的防除と薬剤防除(立茎期間)の効果

3. 夏芽収穫期間

定期的な薬剤防除



- ・ 収穫前日まで使用可能な薬剤を約14日間隔でローテーション散布する。
- ・ 薬液は、茎葉だけでなく病原菌の主な生息場所である親茎の株元にもかかるように散布する。
- ・ 発病茎は見つけ次第、直ちに取り除く(ハウス外で処分)。
- ・ 台風襲来によるハウス天井被覆の除去等、暴風雨にさらされると感染拡大しやすいので、予防防除の徹底に努める。

薬剤防除体系

	立茎期間				夏芽収穫期間								
	4月			5月		6月		7月		8月		9月	
	上旬	中旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
	バンレート水和剤	ロフラル水和剤	ダコニール1000	アミスター20フロアブル	コサイト3000	ダコニール1000	コサイト3000	ダコニール1000	コサイト3000	ダコニール1000	ロフラル水和剤	コサイト3000	アミスター20フロアブル
茎枯病	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎
褐斑病	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
斑点病	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

◎:対象病害に登録あり、特に重要な防除、○:対象病害に登録あり、-:対象病害に登録なし

※アミスター20フロアブルは散布後のハウス内で高温が予想される場合や高温多湿な場合に薬害を生じることがあるので、ラベルに記載されている注意事項を厳守する。

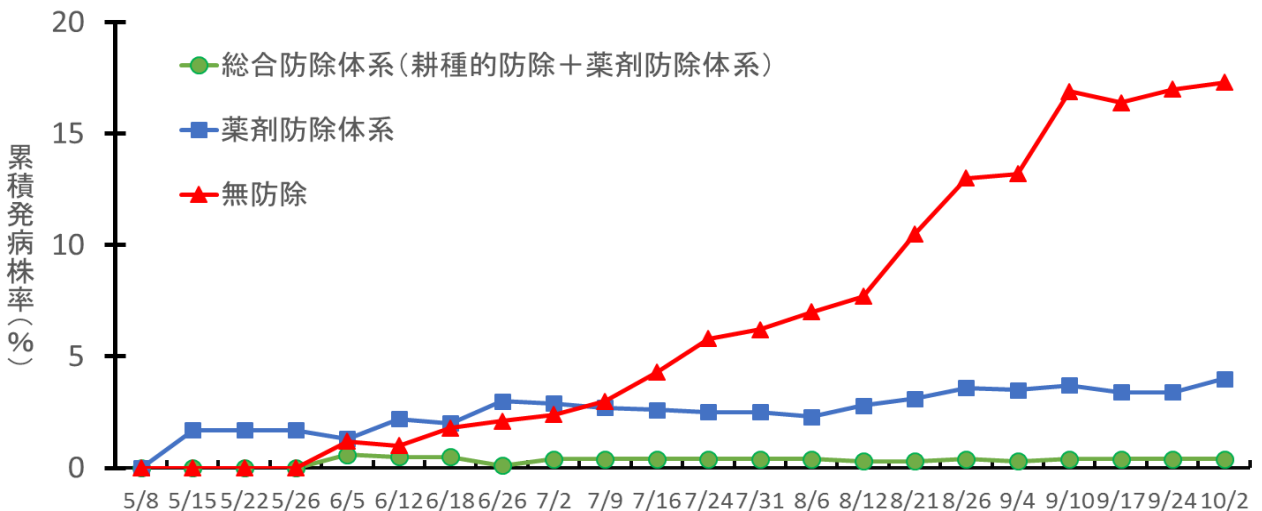


図 総合防除体系、薬剤防除体系の茎枯病の発病推移

4. 褐斑病の同時防除

立茎～夏芽収穫期間の定期的な薬剤防除、適切な湿度管理



- ・ 茎枯病の総合防除体系は褐斑病の防除体系としても効果的である。
- ・ 総合防除体系に加えて、ハウスのつま面開放等の上部換気を行い、ハウス内の過湿をさける。
- ・ 過繁茂をさけた栽培管理を行う。
- ・ 褐斑病菌の潜伏期間は約30日間と長期間であるため、感染後でもわかりにくい場合があるので注意する。

薬剤防除体系

	立茎期間				夏芽収穫期間								
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
	ベンレート水和剤	ロフラル水和剤	ダコニール1000	アミスター20フロアブル	コサイト3000	ダコニール1000	コサイト3000	ダコニール1000	コサイト3000	ダコニール1000	ロフラル水和剤	コサイト3000	アミスター20フロアブル
茎枯病	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎
褐斑病	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
斑点病	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

◎: 対象病害に登録あり、特に重要な防除、○: 対象病害に登録あり、—: 対象病害に登録なし

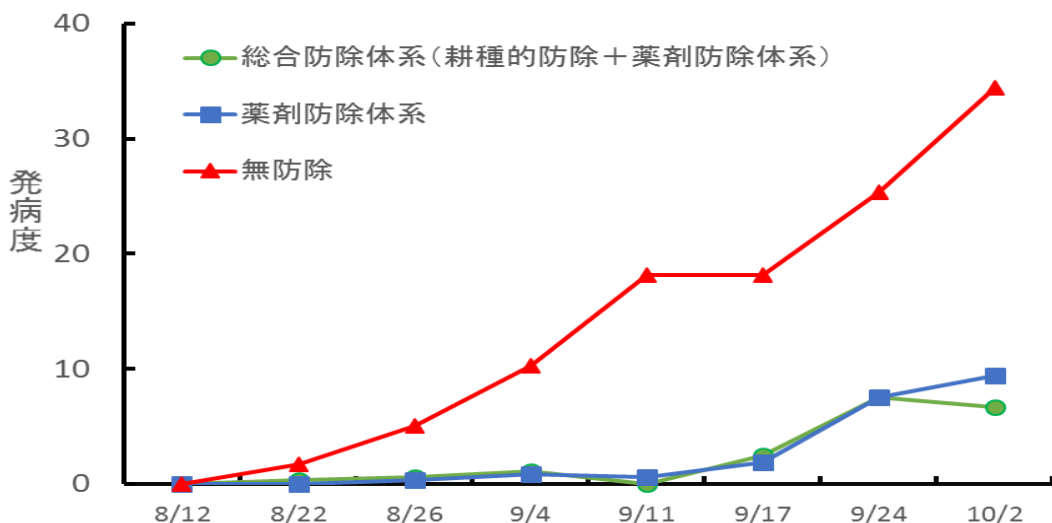


図 総合防除体系、薬剤防除体系の褐斑病の発病推移

長崎県農林技術開発センター環境研究部門病害虫研究室
長崎県諫早市貝津町3118 TEL 0957-26-3330
<http://www.n-nourin.jp/nougi/index.html>